

【様式】

令和4年度 学校マネジメントシート

学校名（ 桑名西高等学校 ）

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<p>○自らの意志で学び、より高みに向かおうと挑戦する意欲にあふれた学校</p> <p>○協働と交流を通して、たくましく生きる力と他者への思いやりが育つ学校</p>
(2)	育みたい 児童生徒像	<p>○自分の興味関心や適性、働くことの意義や社会貢献について深く考え、自分の進路を主体的に決めることができる。</p> <p>○校訓「自主創造」を踏まえ、学習活動や特別活動、部活動に自主的、協同的に取り組み、社会で必要とされる力とそれを支える確かな学力、豊かな人間性を身に着ける努力ができる。</p> <p>○基本的な生活習慣等、人としてのあり方生き方のすべてにつながる土台となる部分が定着し、他者への配慮ができる。</p>
	ありたい 教職員像	<p>○目指す学校像の実現に向け、教職員一人ひとりが「誰のため、何のため」を常に意識して自己研鑽に努めるとともに、協力して取り組んでいる。</p> <p>○すべての教育活動で、生徒が知る喜びや学ぶ楽しさを実感でき、思考力・判断力・表現力をはぐくみ、主体的に取り組むことができるように工夫改善に努めている。</p> <p>○教職員が互いに切磋琢磨し、生徒と共に成長する活気にあふれた職場を目指している。</p>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>&lt;生徒&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本から様々な進路希望に対応した内容まで、興味関心を喚起する授業。</li> <li>・大学進学を中心に自分の力を伸ばし進路希望が実現できるきめ細かい指導・支援。</li> <li>・安心して豊かな学校生活を送るための教育環境と、学校行事、生徒会活動、部活動の充実。</li> </ul> <p>&lt;保護者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力伸長と進路希望実現に向けた学習指導・進路指導・生徒指導の充実。</li> <li>・学校行事や部活動等をとおした豊かな人間性の育成。安全・安心な教育環境。</li> </ul> <p>&lt;地域&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力、体力、コミュニケーション力を備え、将来地域社会で主体的に活躍できる人材育成。</li> <li>・授業や学校行事の公開、部活動の交流、地域行事への参画をとおした開かれた学校。</li> </ul>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>&lt;家庭&gt;</p> <p>学力伸長および進路希望実現や、豊かな人間性の育成に向けての教職員による支援と十分な情報提供。</p> <p>&lt;中学校&gt;</p> <p>本校の特色や生徒の学校生活の様子、進路状況などの情報提供。</p> <p>&lt;地域&gt;</p> <p>学校行事等の公開。地域活性化のために地域行事や防災活動等への生徒の参画。</p>	<p>&lt;家庭&gt;</p> <p>学校教育への理解と協力。基本的な生活習慣の確立や進路希望実現に向けた支援。</p> <p>&lt;中学校&gt;</p> <p>基本的な生活習慣の確立と基礎学力の定着に向けた相互協力。情報交換と協力・支援。</p> <p>&lt;地域&gt;</p> <p>学校の教育活動や生徒が生き方や働き方を考えるための協力・支援。</p>

<p>(3) 前年度の学校関係者評価等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍により実施することができなかった行事と、感染対策等を講じながら実施することができた行事について、次年度に向け整理する必要がある。例えば、実施することができなかった事業について、他の方法はなかったのか、また実施できないことにより、生徒等への影響等の検討もおこない、来年度に活かしていただきたい。来年度もコロナにより、生徒の体験や経験が損なわれることのないようお願いしたい。</li> <li>・ 各行事がマンネリ化していないかなど、再検討が必要ではないか。</li> <li>・ 今年度の公開人権LHRで、性の多様性についての取組を進めていただきたい。</li> <li>・ コロナ禍で成果があった指標「学校運営（授業満足度、参画意識）・教育活動（キャリア教育）」を維持していくためのポイントを教職員や生徒と共有しておくとの良いのではないか。</li> <li>・ 令和3年度生徒学校満足度アンケートの結果をもとに、生徒が主体的に授業に参加する授業の在り方（キャリア教育につながり、生徒の進路希望実現に導くと考える）について、教科会等でさらに深めていただきたい。</li> <li>・ 防災教育や人権学習の内容は、中学校で定番になっている題材もあるので、一考が必要ではないか。</li> </ul>				
<p>(4) 現状と課題</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">教育活動</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら挑戦する心を持ち、自主的に自己の生きる力を伸ばすことができる生徒の育成が求められていることなどから、3年間を通したキャリア教育計画の策定・実践など、生徒の意欲向上に向けた全校的な取組の推進が必要である。</li> <li>○4年制大学等への進学志向が高まっており、多様な入試機会を積極的に活用し自らの進路を切り拓こうと挑戦する生徒が増えている。</li> <li>○第一志望合格に向けて粘り強く最後まで学習する指導を強化しており、指導方法や進路指導体制のさらなる改善が必要である。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">学校運営等</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会で求められる力の育成のため、教科横断的で探究的な学習を着実に実施できる体制を構築する必要がある。</li> <li>○情報共有や意思統一を円滑に図るため、ICT機器の活用やシステムの改善など一層の工夫が必要である。</li> <li>○休暇取得の促進や定時退校日の遵守、また業務内容の改善や部活動の在り方の検討など、職員のワークライフバランスの改善に向けた取り組みが必要である。</li> </ul> </td> </tr> </table>	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら挑戦する心を持ち、自主的に自己の生きる力を伸ばすことができる生徒の育成が求められていることなどから、3年間を通したキャリア教育計画の策定・実践など、生徒の意欲向上に向けた全校的な取組の推進が必要である。</li> <li>○4年制大学等への進学志向が高まっており、多様な入試機会を積極的に活用し自らの進路を切り拓こうと挑戦する生徒が増えている。</li> <li>○第一志望合格に向けて粘り強く最後まで学習する指導を強化しており、指導方法や進路指導体制のさらなる改善が必要である。</li> </ul>	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会で求められる力の育成のため、教科横断的で探究的な学習を着実に実施できる体制を構築する必要がある。</li> <li>○情報共有や意思統一を円滑に図るため、ICT機器の活用やシステムの改善など一層の工夫が必要である。</li> <li>○休暇取得の促進や定時退校日の遵守、また業務内容の改善や部活動の在り方の検討など、職員のワークライフバランスの改善に向けた取り組みが必要である。</li> </ul>
教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら挑戦する心を持ち、自主的に自己の生きる力を伸ばすことができる生徒の育成が求められていることなどから、3年間を通したキャリア教育計画の策定・実践など、生徒の意欲向上に向けた全校的な取組の推進が必要である。</li> <li>○4年制大学等への進学志向が高まっており、多様な入試機会を積極的に活用し自らの進路を切り拓こうと挑戦する生徒が増えている。</li> <li>○第一志望合格に向けて粘り強く最後まで学習する指導を強化しており、指導方法や進路指導体制のさらなる改善が必要である。</li> </ul>				
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会で求められる力の育成のため、教科横断的で探究的な学習を着実に実施できる体制を構築する必要がある。</li> <li>○情報共有や意思統一を円滑に図るため、ICT機器の活用やシステムの改善など一層の工夫が必要である。</li> <li>○休暇取得の促進や定時退校日の遵守、また業務内容の改善や部活動の在り方の検討など、職員のワークライフバランスの改善に向けた取り組みが必要である。</li> </ul>				

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個々の生徒がより高い目標を設定し、自ら学ぶ姿勢を身につけ、自己の可能性を伸ばすことができる学習活動を推進する。またその実践のため、教員一人ひとりが指導力の向上を図る。</li> <li>○学校生活を通して主体的に行動することができ、社会性、協調性、責任感、創造力、企画力、コミュニケーション力、忍耐力などを身につけ、心身共にたくましく、他者への共感ができる生徒を育成する。</li> <li>○命を大切に、自己肯定感を高め、一人ひとりが大切にされる人権感覚あふれる学校づくりを推進する。</li> </ul>
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導内容や評価方法について教科会での活発な議論を推進するとともに、学校全体として学力向上や授業力向上に向けた新たな企画や改善策を積極的に提案し合い実行できる体制を構築する。</li> <li>○目的意識の共有化を図り、組織力を向上させるとともに、地域の多様な関係者と連携することなどにより、有為な社会人を育成するために最適な教育環境を創造する。</li> <li>○総勤務時間の縮減など、教職員が健康で意欲的に働くことができる職場環境づくりに取り組む。</li> </ul>

#### 4 本年度の行動計画と評価

##### (1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」 最重要課題

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をおこない、生徒たちの資質・能力を育成する。</p> <p>(2)教職員が、授業に必要な ICT 活用のスキルを修得し、校内研修や教員間の情報共有をはかり、生徒の授業への興味・関心を高める。</p> <p>(3) 各教科と連携し、図書館を活用した学びを促す。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての教科で、課題の発見・解決や習得・活用・探究の学習プロセスを意識した授業を実施。</li> <li>・定期的に教科会議を開催し、生徒の学習状況の把握、ICT 活用した実践事案など、情報共有に努める。</li> <li>・生徒学校満足度アンケート、教員向け授業実践アンケートの実施。</li> <li>・教科別図書館購入リクエストアンケートを実施。授業に連携した展示コーナーを充実。</li> <li>・18 歳成人年齢になった本年度は、主権者として社会の中で自立し、地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担う力を身につけるために主権者教育を充実する。</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に授業に参加したと回答した生徒の割合 8 割以上 (74.1%) 今期 82.3%</li> <li>・授業等で ICT 活用に不安があると回答した教員の割合 2 割以下 今期 25%</li> <li>・授業等での図書館利用 60 時間 (昨年実績 64 時間) 1 月末現在 53 時間</li> <li>・授業及び総合的な探究の時間を活用した「18 歳選挙権」関連講座の実施。 右記述参考</li> </ul>	<p>講義型の授業から少しづつではあるが変わりつつあり、ICT 利用についても情報担当が随時情報提供しており、徐々に浸透している。ICT にかかるとのアンケートの結果より、低いところの改善に取り組みたい。</p> <p>図書館活用の状況は 1 月末現在で 53 時間であり、年度末には指標をクリアする見込み</p> <p>本年度新たに行う主権者教育は、桑名市での選挙期日前投票を 11 月 16 日に本校で行い実際に 3 年生希望者が期日前投票を行った。また、外部講師も招いての講義を 3 年対象に行った。</p>	
地域から信頼される、安全・安心な教育環境の構築	<p>(1) 授業や学校行事の公開、学校施設の地域開放、協働して行う挨拶運動や美化活動などをとおして、保護者や地域との連携を一層深める。</p> <p>(2) 現在および将来に直面する災害に対して、地域と連携して防災教育の充実と防災意識の向上を図る。</p> <p>(3) 学校説明会を開催することや中学校訪問等により、桑名西高校の魅力を中学校教員や中学生や保護者に発信していく。</p> <p>(4) 教育公務員として法令等を常に遵守するとともに、高い倫理観と崇高な使命感を持って職務に専念し、不祥事根絶に向けて職員会議等で討議し、職場全体で取り組んでいく。</p> <p>(5) 創立 50 周年記念事業を機会に、さらに地域から信頼されるよう広報活動を進める。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP やきずなメール、学年通信等による積極的情報発信。マスメディ</li> </ul>	<p>(1) コロナ禍の中でもおむね順調に実施 (防災イン桑西、竹の13夜、奉仕活動、野球場などの開放等)</p> <p>(2) 8 月末に四日市大学、自衛隊、桑名市と共同して防災訓練を実施</p> <p>(3) 学校説明会は 1000 人強の参加</p> <p>(4) コンプラミーティングを 12 月に実施、定期的に管理職から不祥事防止</p>	

	<p>アへの情報提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域から参加要請があった各種行事への積極的参加の推進。</li> <li>・中学生に親しみやすく、わかり易い学校パンフレットの制作。</li> <li>・将来社会の一員として地域から信頼され期待される人間形成を目指すために、「人権・環境・平和」等についての学習を深める。</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの更新回数5回以上／月平均(4.5回) 今期月平均3回</li> <li>・防災訓練や防災研修会を年2回実施。右記述参考</li> <li>・年1回以上地域の活動に参加したと回答した生徒の割合9割(100%)</li> <li>・学校説明会および学校見学会に参加して本校の様子がよくわかったと回答した中学生の割合9割(99%)今期9割以上</li> <li>・外部人材の講演5回以上今期すでに5回以上</li> <li>・桑名西高校がメディアに取り上げられた回数5回以上 1月末現在6回</li> </ul>	<p>に係る話をし、各学期各自コンプライアンスチェックを実施して振り返っている。</p> <p>(5)50周年記念事業はおかげさまで予定通り開催でき好評であった。</p> <p>防災関係は、避難訓練と防災イン桑西で2回実施 広報活動は、イベント実施の際にはメディアに投げ込みしているが、取材されない場合もあるが、成果指標はクリアしている</p>	<p>※</p> <p>※</p>
<p>キャリア教育の充実</p>	<p>(1)大学入学共通テストや一般入試を視野に入れて受験勉強に取り組むとともに、国公立大学における推薦入試の積極的な活用を図る。</p> <p>(2)生徒の多種多様な進路希望が実現できる、きめ細かい指導・支援を図る。</p> <p>(3)一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育む。</p> <p>(4)キャリア教育を推進し、これまでの自分を振り返り、現在を理解、これからの生き方を考えることにより、自主的自発的に学校教育活動に向かう生徒を育成する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学進学希望者の大学入学共通テスト・一般入試受験を促進。</li> <li>・就職希望者への面談の充実を図る。</li> <li>・進路講話、進路ガイダンス(入試に向けて・学部学科選択・文理選択)、卒業生講話の実施。</li> <li>・校外模試(全統模試・進研模試・看護模試・公務員模試)、自己診断テスト(スタディーサポート・R-CAP)の活用。</li> <li>・1日看護体験、保育体験、作業療法士体験等の奨励。</li> <li>・探究学習プロジェクトを組織し、総合的な探究の時間をとおして、自ら課題を見出し解決する力の醸成し、生徒の適正な進路選択が図られるよう、学年進行で取り組みを進める。</li> <li>・ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、教育委員会や地域と連携した活動の活性化。</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の進路希望実現に向けて最後まで粘り強く努力したと回答した生徒の割合9.5割(91.7%)今期91.6%</li> <li>・探究活動が進路選択に有効であったと回答した生徒の割合6割 今期86.3%</li> </ul>	<p>一般入試受験促進に向けて指導・支援しているが、生徒は早く進学先を決めたい傾向は否めず、結果、推薦試験を希望する生徒が多くなっている現状があり、第一志望合格に向けて粘り強く最後まで学習させるよう改善が必要である。</p> <p>一般企業就職、公務員併せて希望者全員が内定済 進路指導事業(模試体験学習含む)もおおむね順調</p> <p>(4)に関しての生徒アンケートを実施、概ね良好</p>	<p>◎</p> <p>※</p> <p>※</p>

<p>生徒指導の充実</p>	<p>(1) 「挨拶・清掃・身だしなみ もっと・もっと」を目標に掲げ、生徒自らが進んでより快適な学校生活を送れるよう支援する。生徒や教職員が積極的に挨拶を交わす関係を築くことで、他者を思いやり、自らを大切にする態度を育て、人間関係を育む。</p> <p>(2) 美化意識の向上、校内美化・清掃活動に積極的に取り組む。また自転車運転に対するマナーを向上させ、交通事故等の未然防止につとめる。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止、薬物乱用防止、交通安全（特に自転車事故の防止）、ネットモラル等の講演会の実施、年間を通じた登下校指導の実施。</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自ら進んで挨拶をすることができるかと回答した生徒の割合 9割（87.2%） 今期93.4%</li> <li>校内美化・清掃活動に努めることが出来たと回答した生徒の割合 9割（87.3%） 今期92%</li> </ul>	<p>今年度、不法行為の生徒指導案件は2件（3人急学と無断アルバイト）、いじめ案件は数件あるが、現在解決に向けて取組中</p> <p>自転車事故は数件みられるが大きな事故はない。</p> <p>生徒指導関係の外部人材の活用（講話等）もおおむね順調</p>	<p>※ ◎</p>
<p>心と体の健康の充実</p>	<p>(1) 高校生に必要な健康に関する知識の獲得と意識の高揚を図り、自己管理能力をつける。</p> <p>(2) 早期の問題発見・解決に向けて、担任・学年団・分掌・スクールカウンセラーとの連携を密にし、教育相談および特別支援教育の充実を図る。</p> <p>(3) 生徒の様々な課題に対応するため、スクールソーシャルワーカーと共に支援を行う。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「保健だより」を年間12回以上発行</li> <li>「いのちの教育」について生徒対象講演会を年1回実施。</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止対策として手洗い慣行とともに、年間を通じて校内消毒、毎朝検温確認を実施。</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分自身の心と体の状態を理解することができたと回答した生徒の割合 9割（84.0%） 今期87.6%</li> </ul>	<p>保健だよりは13回発行、特にコロナ禍であり、需要が高かった。</p> <p>いのちの教育は、全校生徒対象に臨床心理士による講演、校長から1学期終業式に全体講話の中で内容を含んで話をした。</p> <p>また、3年生には思春期保健相談士による性教育講座でも関連して講話をしてもらった。</p> <p>コロナウィルス感染予防対策に関しては、昨年度同様、喚起を促す放送や掲示などに努めた。</p> <p>心身の様々な問題を抱える生徒には個別に対応し、保護者とも協力しながら取り組んでいる。学年、SC、SSW、発達障害支援員とともに課題解決に向け取り組んだ。年々様々な問題を抱える生徒は増加しており、一層の支援体制の整備が必要</p>	

## 改善課題

今年度から新学習指導要領でのカリキュラムとなり、今後3年間で完成するが、1年目の今年は、1学年各自に1台の端末を購入してもらい、ICTを利用した授業改善を目標としたが、他校と比較すると活用状況は悪くはない数値となっているが、今後も引き続き端末を利用した授業改善に取り組んでいくことが必要である。

また、キャリア教育に関して、本年度より探求プロジェクトを立ち上げ実施しているが、1年目としてはまずまずの評価ができるが、今後桑名西高校の進路開拓に大きな意味を持たせるために、改善しながら生徒の進路希望実現に向けて取り組む必要がある。

### (2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
資質向上の取組	<p>(1) 教科会を定例化・活性化し、授業内容・評価方法の検討と授業力向上に取り組む。</p> <p>(2) 校内研修会の充実および外部研修等の成果を全職員で共有する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相互授業見学を1・2学期に各1週間実施。</li> <li>各部主催の教職員研修を各年1回実施。</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善が進み、生徒にとって満足度が高い授業が実施できたと回答した教職員の割合 8割(86.5%) 今期86.9%</li> </ul>	<p>教職員研修等は人権から2回、進路から1回、管理職から1回、特別支援2回 指導主事訪問を兼ねて教務から1回等</p>	
組織力の向上	<p>(1) 教職員間の対話を重視するとともに、特別支援教育推進委員会や学年会・教科会等で、生徒に関する情報共有を密にするとともに、学年・分掌の協力体制を強化していく。</p> <p>(2) 「運営委員会」「桑西向上委員会」において、組織運営及び入試制度や進学・就職指導の在り方・本校の魅力化等について継続して検討していく。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組織力の向上に向けた積極的な情報共有と改善に向けた様々な提案</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校務運営に積極的に関わることができたと回答した教職員の割合 8割(83.8%) 今期82.6%</li> </ul>	<p>協力体制の基盤となる様々な配慮が必要な生徒の情報共有はできている。</p> <p>入試制度の改善検討及び本校の魅力化議論は今年度まだできていない。</p>	
働きやすい職場づくり	<p>(1) あらゆる機会を通じて労働時間の適正化に努め、定時退校や有給休暇の計画的取得、ライフステージに応じて必要となる休暇取得などを推進する。</p> <p>(2) 互いに職場の仲間を思いやり、教職員一人ひとりが、相手の意見や考えを尊重しながら、自由闊達に意見を言い合える風通しの良い職場環境づくりに努める。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定時退校日(月2回)を実施し、設定した日の定時に退校できる</li> </ul>	<p>まず、過重労働システムの入力を厳密化したため、昨年度より月45時間以上の過重労働教員は増加し、年360時間以上になる見込みの教員が1月末現在で28名</p>	

	<p>職員の割合 80%以上を目指す。 (昨年実績 72.6%)        今期 80.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動休養日を週1日以上設定し、計画通り実施できた部活動の割合 100%を目指していく。 (昨年実績 96.1%)          今期 100%</li> <li>・会議の所要時間を 60 分以内にする割合 80%以上を目指す。          (昨年実績 74.6%) 今期 68%</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身のワークライフバランスが向上したと回答した教職員の割合 60%以上を目指す。(昨年実績 56.8%) 今期 52.2%</li> <li>・休暇を一人平均年 18 日以上取得。(昨年実績 16.9 日)          今期 1 月末現座で 18.7 日</li> <li>・時間外労働月 45 時間を超える職員の年間延べ人数を 0 人          今期 1 月現在で 148 人</li> <li>・時間外労働を一人平均月 1 時間削減          (昨年実績一人平均月 23.2 時間) 今期 1 月末現在 34.8 時間</li> </ul>	<p>定時退校日はおおむね守ろうとされているが、生徒への支援などで一部帰れない教員も毎回いる        管理職に対しては自由に意見を言える環境になっていると思う</p>
--	---	--

### 改善課題

特に働きやすい職場づくりについては、昨年度よりも数値は後退している。改善には思い切った取組が必要となるが、桑名西高校の持ち味である進路指導にも部活動指導にもバランス良く成長させる目標から、どのように取り組んでも人的なエネルギーは必要であり、現実的に改善は難しい。

他の項目はおおむね結果は良好であり、引き続きマイナーチェンジを繰り返しながら同様の取組を続けていく。

## 5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<p>働き方改革については、学校単独では難しいところはあるが、県教委の取組状況を確認しながら進めるべきである。地域や保護者等関係者と協力しながら進めていけないか。いけないか。        不登校等個別多様な悩みについては、いじめ事案との関係性を考えることも必要ではないか。</p>
----------------------------	---

## 6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<p>進学指導について、最後まで粘り強く学習させるため、「みらい」を活用した探究活動をより深化させる。</p>
<p>学校運営についての改善策</p>	<p>働き方改善は、実践するほとんどの取組を行っても若干の改善にとどまっていることから、関係各所との連携、すぐに廃止できる仕事等を新しく作るビジョン委員会などで検討し、検討したものはすぐに取り組めるようにする。</p>